

令和2年度 第1回八雲町行財政改革懇話会会議録(要旨)

- 日 時 令和2年12月8日(火) 13:30~16:00
- 場 所 八雲町役場 第1・2会議室
- 出席委員 出口委員、棚田委員、東間委員、中出委員
- 町出席者 岩村町長、吉田副町長、萬谷副町長、三澤総務課長、
川崎財務課長、野口地域振興課長、その他(事務事業説明者)
- 事務局 竹内政策推進課長、上野政策推進課長補佐
- 傍聴者 なし

1. 開会

2. 町長挨拶

3. 委員長挨拶

4. 意見交換

1) 特定事務事業の選定について

- ・八雲町行政評価実施方針について、資料1により事務局から説明を行った。
- ・外部評価対象として抽出した20事業について、資料2により事務局から1事業ずつ説明し、質問・意見の聴取を行った。

1. アイヌ住宅整備資金貸付事業

(委員)

これは法令で定められた事業ですか。

(住民生活課)

町の条例により定められているものです。

(委員)

直近2年間実績がないとのことですが、最近利用があったのはいつですか。

(住民生活課)

平成28年度新築1件700万円、29年度新築1件720万円、令和2年度に改築1件180万円の貸付がありました。

(委員)

この貸付事業があることを皆さん知っているのですか。

(住民生活課)

アイヌ協会の総会等で随時お知らせしております。

(町 長)

今銀行の金利が安いので、銀行から借りる人が多いため中々この事業を利用する人がいないが、まだまだアイヌの方々たくさんいますのでこの事業を止めようとは考えておりません。

2. 新幹線駅設置自治体地元負担金

意見なし

3.4 水道施設整備事業(管路台帳OA化)

意見なし

5. 森林経営管理事業

意見なし

6.7 林道維持補修事業

(委 員)

5番の森林経営管理事業と連動するものですか。

(農林課)

5番は民有林の森林整備に関するもので、森林整備を行うためどうしても路網の整備が必要になりますので、この事業で管理するということです。

8. コンブ礁造成事業

意見なし

9. 日本海ニシン栽培漁業定着事業

(委 員)

二次評価の内容がよく分からない、事業改善とはどういうことですか。

(副町長)

熊石地域は刺し網を刺して、ニシンを取ろうとしていないし回帰している量も把握できていないので、各町一律に放流しなくてもニシンで生計を立てる、ニシンが欲しいという町で多く放流することが効率的でないかということです。町としては檜山漁協へそういう申し入れをして事業縮小すべきではないかという二次評価です。

10. 秋サケ資源増大対策事業

(委員)

サケの水揚げ状況はどうか。ニシンよりも希望が大きい事業ですか。

(副町長)

サケの回帰率を高めるために、檜山漁協がサケの資源を増やしましょうということで漁協の施設で稚魚をふ化放流する事業です。実際の水揚げですが、その年によってバラツキはありますが令和2年は日本海南部の全ての町でここ1,2年の量を上回った実績となっております。

サケの育ち方によって北海道でも資源予想はしますが当たる年もあるし当たらない年もあり、中々予測できないことも有るが水揚げとしては漁業生産に占める割合は高いとして檜山漁協としては事業継続してやりたいとのことで実施しております。

11. 漁業協同組合経営安定対策事業

(委員)

これはトラウトサーモンの事業とは別物ですか。

(副町長)

これは先ほど説明したサケのふ化放流事業の施設を整備したものに対する補助金です。

12. 檜山なまこ栽培漁業定着事業

意見なし

13. ひらたない温泉あわびの湯指定管理業務委託事業

(委員)

おぼこ荘もこのような形で委託しているのですか。

(副町長)

おぼこ荘は違います。日帰り入浴施設は同じように町の施設でひらたに指定管理で委託しており、似たような形での管理方法となっている。ただ、ひらたないについては指定管理料ということで管理費の一部を収入見合いで維持できないことから係る経費の一部を町で補助している。おぼこ荘については指定管理料ということで町からの支出はありません。経営状況、収支の状況を見ながら双方話し合いで指定管理料を決めている。

14. ひらたない温泉あわびの湯駐車場除雪業務

意見なし

15. 介護予防・日常生活支援総合事業

意見なし

16. 介護予防ケアマネジメント事業

意見なし

17. 意思疎通支援事業

意見なし

18. 自動車改造助成事業

(委員)

利用者がいないのであればこの事業は必要ないのではという考えもあるかもしれないが、障害者などはずっと続くことだから、利用者がいないからやめるのではなく事業は残して後は結果だと思います。

19. 障がい児通所等給付事業

意見なし

20. 重度障がい児通学費助成事業

意見なし

特定事務事業の選定については、事務局一任とされ、事務局案が承認された。

(委員)

法令義務事業については、評価はすべきなのかもしれないが、委員が意見を出しづらいものについてはそもそもこの場で説明しなくても良いのではないのでしょうか。

(政策推進課長)

町単独の事業ばかりですと毎年同じになってしまいます。法令で定めてあってもその方法だとか手法だとか効果だとか、そういったものを検証する場も必要ではないかということで今回説明させていただいている。評価シートの必要性、妥当性の欄については法令義務であっても今後は記載することとしたいと思います。

5. その他

(委員)

コロナ対策の個人給付について、近隣町と比べてしまう。個人的意見ではないが、よく聞くのが乙部町や江差町では国の給付金の他に町独自で出しているが八雲町はないねと聞きますが、それはそれぞれの町の事情もありますから、バラマキが良いというものでもないし、町だよりか何かにほかの町はこうだけれども、八雲町はこうですよといった考え方の説明を載せたほうが良いと思ったのですが。

(町長)

八雲町は他の町に合わせようとは思っていないので説明をしようとは思っていません。コロナが落ち着いたら経済対策で色々なことを考えていきたいと思います。

(委員)

熊石の消防団の関係ですが、4分団あるうちの第1分団が消防署の近辺ということで車両の配備がありません、ポンプはあるのですが、今までは個人のトラックなどでポンプを積んで有事の際に出動していたが、だんだん高齢化でトラックを持っている団員の数も減ってきているし団員の数も減ってきている、要するに運搬できる車両がない。

(町長)

今後消防と第1分団とで話をしたいと思います。

(委員)

今後の町民評価、今までは町内会単位の新年会等でやっていたと思いますが、今回可能ですか。

(政策推進課長)

総会を中止する町内会もけっこうあると聞いており説明の場がなかなか確保できないところでは。形を変えて、やるにしても町内会としては総会が一番やりやすかったと思いますが町民に知らせるやり方、ホームページにも載せますがそれ以外にも何かないかを考える必要があります。各担当課で団体を持っていますのでそのような場で説明させていただくことも考えたいと思います。

(委員)

コロナ禍において今後の町民評価の在り方も考えていかななくてはと思います。

6. 閉会